
空物語

とりをとこ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

空物語

【Nコード】

N5051BA

【作者名】

とりをとこ

【あらすじ】

化物語、偽物語の世界観を借りた怪異譚。

気分を損ねたらごめんなさい。

いろんな意味で。

僕が懸命に羽ばたいて、羽ばたき続けた日々を思い出そう。そして償おう。

忘れ去られないよう紡ごう。お伽話に付き合う人は少ないのかもしれないけれど。

それでも僕は償うために多くの人に話そう。もうすでに、飛び立つ
ことができない鳥と傍観者となった僕の物語を。

僕が懸命に羽ばたいて、羽ばたき続けた日々を思い出そう。そして償おう。

忘れ去られないよう紡ごう。お伽話に付き合う人は少ないのかもしれないけれど。

それでも僕は償うために多くの人に話そう。もうすでに、飛び立つことができない鳥と傍観者となった僕の物語を。

空鳥無垢。僕の名前。羽ばたけない鳥を蹴落とした人の名前。羽の生えた人間の失敗作。

僕の持つ言語じゃ表現できない、あるいは神のみぞ知る上位言語でのみ伝えられるような僕のおかれた状況。

これから語ることはみんなにとってはお伽話かもしれないけど、僕にとっては「現実」だ。

語った所で真に受ける人なんていないのは分かっているけど。これだけは知っておいて欲しいんだ。

どれだけ精密に、聞き手に最適化し、詳しく語った所で天変地異が起きようが、宇宙人が地球に攻めて来ようが、相対性理論が破綻し

ようが、地球が滅亡しようが、何が起きようが。僕には現実であって、君にはお伽話という事を。

物語の始まりは一学期終業式に遡る。簡単に言うならば、夏休みってことだ。

忘れない夏休みだった。

忘れられない夏休みだった。

短い夏休みだった。

長い夏休みだった。

今後悔しても、もう遅い。

僕が、失敗作が人が故の過ちを、失敗作であるが故の過ちを犯してしまったのだから。

「ソレ」は僕の何倍も、数十倍も、数百倍も、賢くて、凶悪で、凶暴で、僕の体を蝕み、優しかった。

だから僕は、こうして生きて行ける。人として。傍観者として。

春が過ぎて、夏がやってくる。

高校生活でこの時期にやってくることを。

そう、夏休み。色々やりたいことをこなせる。

たとえば、原付の免許とか。ほかには、恋人を作ってみるとか？

無理だけど。そんなこと天地がひっくり返ってもありえない。

あーでもそういうことがあって欲しいなあ。

そんだったら、毎日ウハウハだよなあ。

リア充全員爆発しやがれよもう。

非リア充の僕に幸あれ。

そんなことを考えつつ帰路に着く。

クラスメイト、学校から解放されたぞパーティーへ誘われたけど断った。

めんどろくさい人付き合いは回避するのに限るんだよ。

クラスの野郎達が華も無くただお好み焼き屋で盛り上がっているのを想像すると、そこはかたなくむさくて、アーツ！っていう気分になる。

アーツ。

「あれームツクじゃない？」

背後から声。

「僕はムツクじゃないぞ」

「じゃあ、赤いモップの妖怪？」

「違う、そりゃムツクだ」

「まるまるもりもり？」

「わすれものするなよ？」

…いやいやそのムツクでもねえよ。

「僕の名前は無垢だ、ムックじゃねえよ」

このバカそうな女の子は、瀬反田っていう子なんだけれど、苗字しか知らない。年は多分僕と同じなんだろうけど、フルネームも知らないし、どこの学校かもわからない。

そんなナゾのオンナノコ。

学校から帰るときによく会って、いつもこんなしょうもない話を
してミスタードーナツの角で別れる。そんな関係。

今日もミスタードーナツが見えてきた。

「じゃあ、ここでバイバイだね、ムック」

「瀬反田も気を付けるよな、最近物騒らしいからな……」

「……うん、じゃバイバイ」

「おう」

瀬反田と別れて、ここからは一人帰り。

本当に恋人が欲しいぜ。

夏なのに寒いよなんか。

心がさ。

なんかこう、ホットな情熱的な何かを味わいたいよね、鼻血がでない程度に。

彼女ができたらどうするよ、まずはえっと、何をしようかなあ、デートとか？

うっはマジでデートとかしてみたいわ。

童貞の永遠の夢だね。

逆にだ。

童貞卒業しちゃうと、こういう甘酸っぱい気持ちを無くしちゃうらしいんだよな。

ということは、逆に童貞の方が勝ち組だったりしてなあ。

いや、考えてみる。甘酸っぱい気持ちを卒業者が失ったんじゃない。不変のものになったんだ。

…いや、なに僕、格好つけて『不変のものになったんだ』とかなに言っちゃってるんだよ。

ああ本当に恋人が欲しいぜ。

瀬反田とかどうだろうか、あいつ結構可愛いからな、付き合ってもいいかも。

をいをい、付き合ってやるってなんだよ。

まるで、僕がイケメンで、勉強できて、金持ちで、その他もろもろのプラスステータスを装備してるみたいじゃないか。

…瀬反田と付きあわせてもらいたい。

丁重にお断りされるだろうが。

まあ前項目にあった通り、僕は容姿端麗じゃないし、学業もまともに実行したことないし、花輪くんのようにお金持ちの家庭に住んでいるわけでもない。

最近思うことがある。

自分の未来がまったく想像できない。

サラリーマンになってしまっただろうけど、社会の犬になってしまっのかもしれないけど。

それも何かおかしい。

高校生の僕だけけど、まったくをもって「青春」を感じたことは皆無だ。

そんな僕がオトナになってしまっただろうか。

…いや、オトナってああいう意味じゃないぞ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5051ba/>

空物語

2012年1月13日23時51分発行